

# キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪

7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

## 第二部 神を知ること

### 「キリスト教神学」

- 8章 神の普遍的啓示
- 9章 神の特別啓示
- 10章 啓示の保存: 靈感
- 11章 神の言葉の信頼性:  
無誤性
- 12章 神の言葉の力: 権威

### 『キリスト教教理入門』

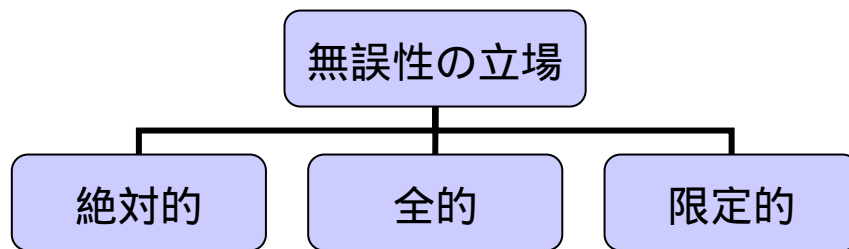
- 3章 神の普遍的啓示
- 4章 神の特別啓示
- 5章 啓示の保存: 靈感
- 6章 神のことばの信頼性:  
無誤性
- 7章 神のことばの力: 権威

# 第6章 神のことばの信頼性： 無誤性

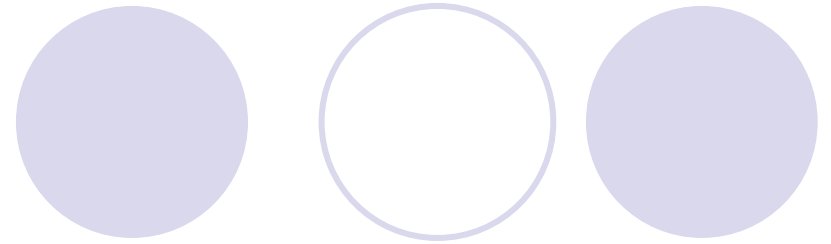
1. 無誤性についての多様な概念
2. 無誤性の重要性
3. 無誤性と事象
4. 無誤性を定義する
5. 付随的問題

# 1. 無誤性についての多様な概念

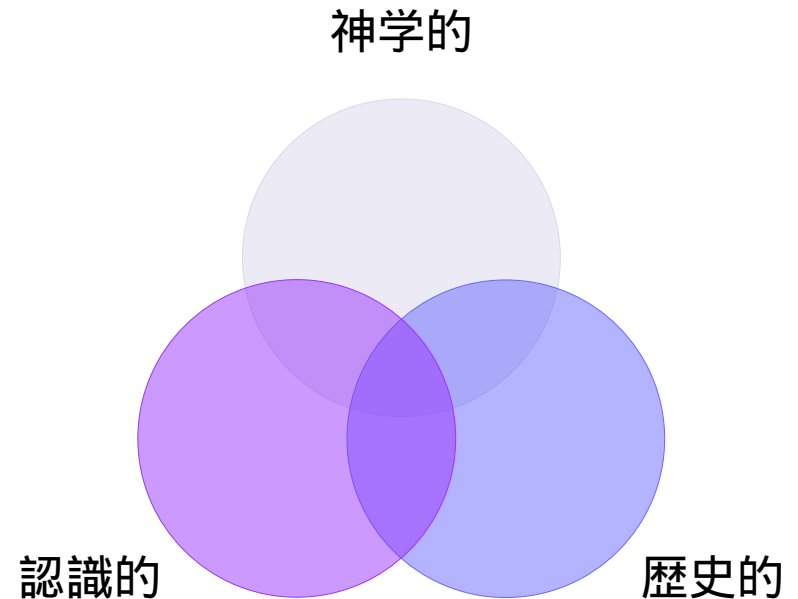
1. 絶対無誤説
2. 全的無誤説
3. 限定的無誤説



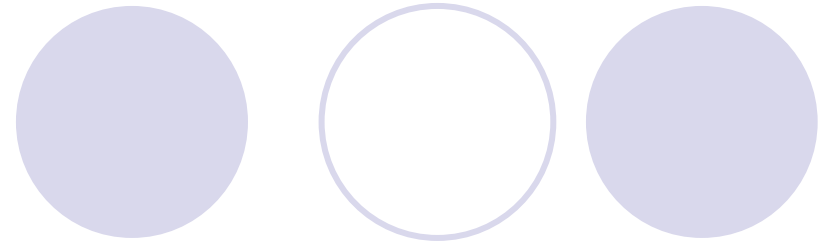
## 2. 無誤性の重要性



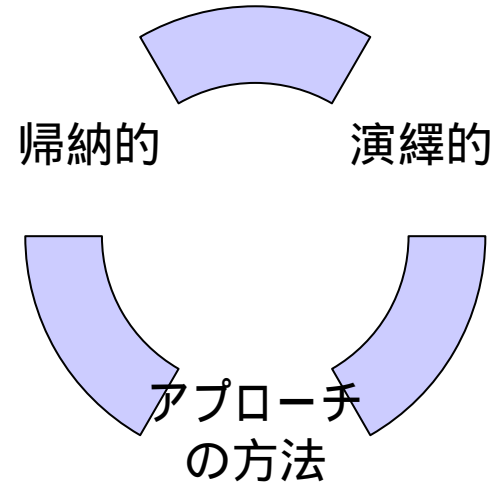
- 無誤説は聖書的な概念か？
- もし聖書がそれを語っているとしたら
  1. 神学的重要性
  2. 歴史的重要性
  3. 認識論的重要性



# 3. 無誤性と事象



- 1. 聖書の実際の事象をみる
- 2. 問題のある箇所  
の存在: 年代、数、他
- 3. ウォーフィールドと  
ビーグルのアプローチ
- 4. もしすべてのデータを  
手にしたとしたら



## 4. 無誤性を定義する： 序

- 無誤性とは
- 文化とコミュニケーションの手段が、
- それが書かれた時代に発展したレベルの光  
において、
- そしてそれが与えられた目的という視点にお  
いて正しく翻訳されるとき、
- 聖書はそれが主張しているところのすべてに  
おいて完全に真実である。

## 4. 無誤性を定義する:

### 1. 記録より、断言されているもの

1. 引用の資料源の正典性の保障ではない
2. 直説法以外の叙法へのどんな適用が可能なのか





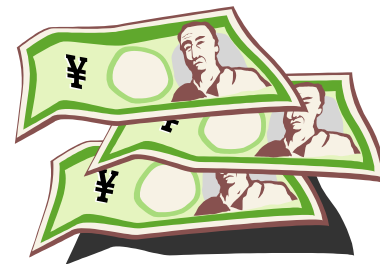
4 . 無誤性を定義する：  
2 . 陳述が意味されていた範囲内で

- 引用における正確さの水準が1世紀に存在していたかどうか？



# 4. 無誤性を定義する: 3. 書かれた目的において判断

1. 正確さは、著述の目的に依存している
2. 年収はいくらか:友人の問いと税務署の問い
3. 数字だけではなく、歴史物語においても



4 . 無誤性を定義する :

4 . 科学言語でなく、現象的言語

- 科学的なサークルでさえ、「日の出」と言う



4. 無誤性を定義する：

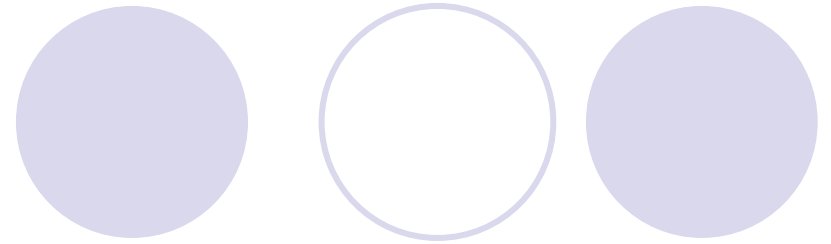
5. 急いで結論を出すべきでない

1. すべてのデータを手  
にしたら解決されるか  
ら、残りのデータを待  
つのがよい

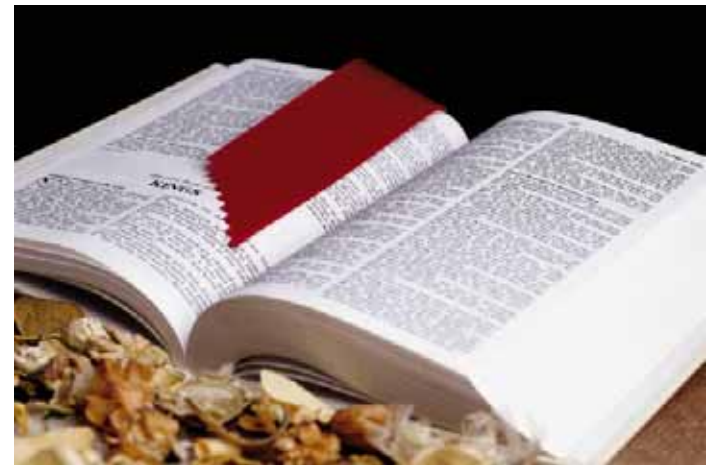
2. ユダの自殺の描写：  
「プレネース」の解釈



## 5. 付随的問題



1. 「無誤性」という用語は適切か？
2. 「誤り」ということにおいて何を意味しているのか？
3. 無誤性は「原典」のみに、派生的な意味で翻訳にも
4. 正しく解釈されるとき、教えているすべてを信頼しうる



# ICIインフォメーション

- この講義はブックレット・テープ・MD・ビデオで収録されており、必要な方にお分かちしています。関心のある方はご連絡ください。

